

「殺生石」物語考

物語の考察⑤

「殺生石」や「玉藻前」に関する神社や伝説があるのは、ひとり那須町のみではない。物語の中で玄翁和尚によって砕かれた石が、日本の各地に飛来したとされ、現在も神となって祭られているのは、「瓢箪から駒が出る」の感があり、興味深い。

そのいくつかを列挙すると、

◎「勝山の殺生石」は、岡山県真庭市勝山にある神社で、ここでは、玉雲大権現として奉られている。◎「内山神社」は、宮崎県宮崎市高岡町内山の神社であるが、他の神々に混じって、玉藻前も神として祭られている。

◎「常在院の殺生石」は福島県白河市表郷中寺、常在院の裏手に祭られている。

◎「会津高田の殺生石」は福島県会津美里町に、「殺生石稲荷神社」として敬われている。

◎「猪苗代の殺生石」は巨石で、福島県猪苗代磐根土田にある。

その他、

◎「豊後高田の殺生石」(大分県豊後高田市)

◎「安芸高田の殺生石」(広島県安芸高田市)

◎「越後高田の殺生石」(新潟県上越市)等々が、古資料に散見できる。が、各市の教育委員会や歴史民俗資料館、歴史博物館に問い合わせた結果、いずれも、伝説・史跡、那須の殺生石につながるものは、確認できなかったとの連絡を受けた。これらについては、今後の、より入念な調査が待たれる。

それにしても、那須地方のフィクションであるこの物語の内容が、何故、こうもまことしやかに、各地に飛び火し、しかも神となって今に生きているのであろう。これは大いなる民俗学的課題かもしれない。

ただ、言えることは、この物語には、日本人の精神に深く食い入る何かがある。そうでなくしては、数百年も、文学や芸能、そして神となって、しかも日本中に拡がって存在するはずがない。この物語には、何か、真実と普遍性が、深く秘められている。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏寿 先生(湯本在住)

今月のひとこと

校庭を三々五々に遊ぶ児ら

コロナウイルス吹っ飛ばす笑顔

かつこう

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、学校の臨時休業や不要不急の外出自粛など、子どもも大人も生活が大きく変わりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、学校の臨時休業や不要不急の外出自粛など、子どもも大人も生活が大きく変わりました。

④

保育園では自主休園をお願いし、小中学校では臨時休業となっている中、規模を縮小して行われた入園・入学式(23頁)。子どもたちは、入園入学の喜びに胸を膨らませ、新しい友だちと送る新しい生活に期待を持っているようでした。保育園・学校で、元気いっぱい楽しく過ごしたいと思っている子どもたちのために、新型コロナウイルス感染症が終息し、日常が戻ることを願うばかりです。

⑤

こんにちは 赤ちゃん



畑
ゆい
祐衣
(丸山)

平成31年
2月12日生

父 和希さん 母 志織さん

祐衣ちゃんは…

動物好きで猫のらくくんが大好き。これからも明るい笑顔で大きく育ってね。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(4月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,378世帯 (+29)
・人口 24,913人 (-43)
男 12,385人(-39) 女 12,528人(-4)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。